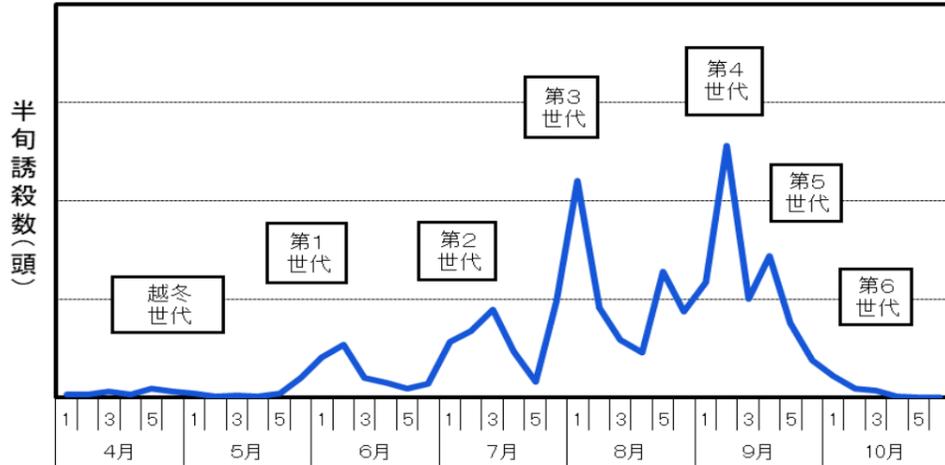


モモハモグリガのフェロモントラップ誘殺消長（令和6年（2024年）調査）

長野県病害虫防除所

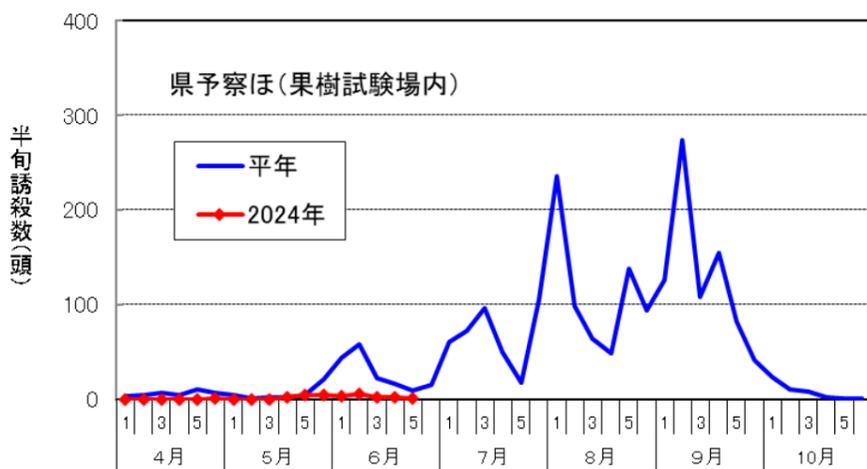
過去10年間の消長模式図（長野県果樹試験場内 県予察ほ）



【発生生態と防除のポイント】

- ・年6～7回発生する。
- ・各世代成虫の発生最盛期は、越冬成虫が4月下旬、第1世代は6月上旬、第2世代は7月中旬、第3世代は8月上旬、第4世代は8月下旬、第5世代は9月下旬、第6世代は10月中旬頃である。
- ・寄生量は第3世代から急増し、第4、5世代は高密度となる。
- ・発生が多くなる第2～4世代の防除が重点になる。
- ・薬剤防除の目的は、主に幼虫による葉への食入防止である。

○県予察ほ（須坂市 果樹試験場）



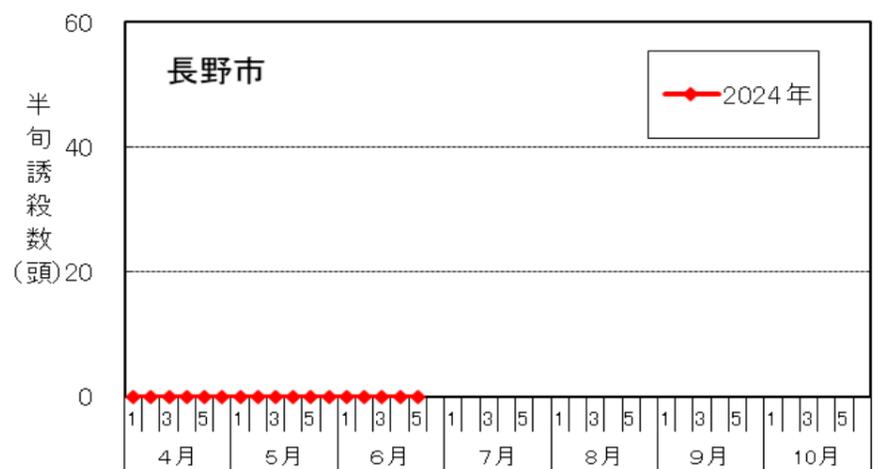
【調査地点】（標高約 350m）

- ・須坂市 果樹試験場（ももほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、平年並～少ない。

○須坂市（病害虫防除所調査）



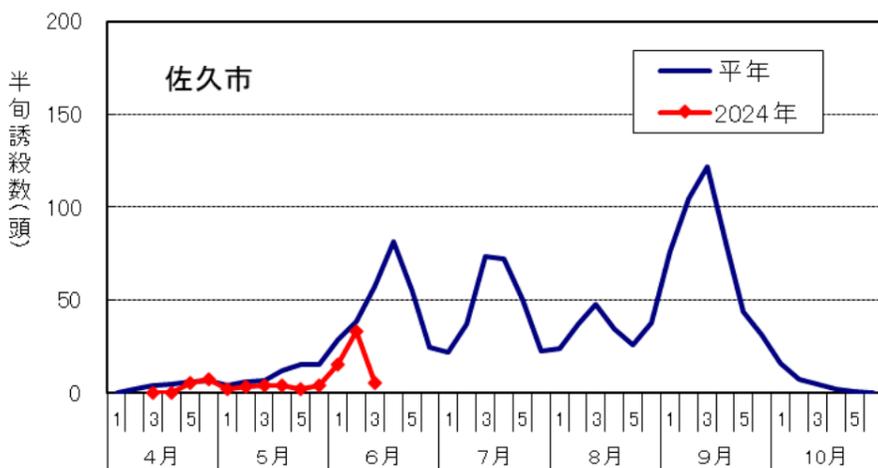
【調査地点】（標高約 343m）

- ・長野市（ももほ場）
- ・2024年にはほ場を変更したため、平年値はない。

【コメント】

- ・6月第5半旬まで誘殺はなかった。

○佐久市（佐久農業農村支援センター調査協力）



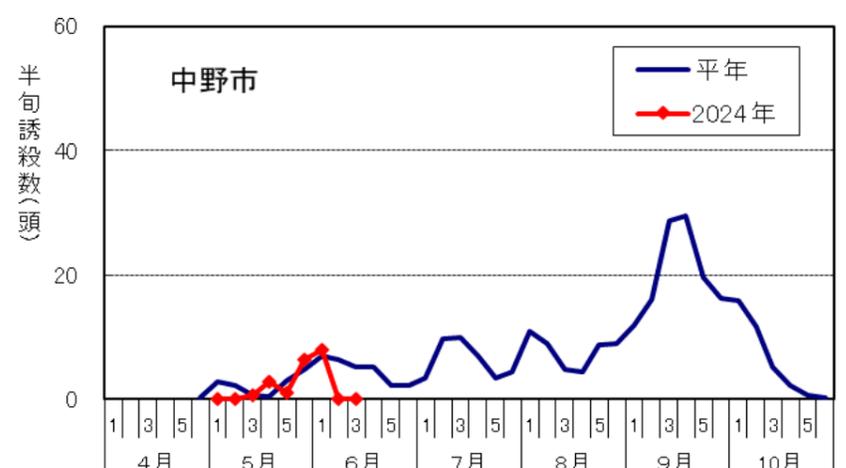
【調査地点】（標高約 740m）

- ・佐久市（ももほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、平年並～やや少ない。

○中野市（北信農業農村支援センター調査協力）



【調査地点】（標高約 370m）

- ・中野市（ももほ場）
- ・平年は2014年～2023年の平均値

【コメント】

- ・誘殺頭数は、平年並～やや少ない。